



かえでゆうびん 10月号

溶けてしまうほどの暑さが続いていたかと思えば、急に秋がやってき、ようやく過ごしやすくなってきたと思うとまた、大型の台風…。体調管理も、衣の入れ替えも難しく、これから訪れる紅葉を楽しめるのだろうか・・・と心配しています。

しかし、子どもたちはメダカ・亀・カッパ・魚・カブトムシ・など様々な小動物の『生命』に触れながら、園庭にたわわに実ったマスカットをほおばり、空の雲の動きや虫の声に季節の移り変わりを感じてくれています。

また、保護者とおしの顔合わせと園の運営を知らせる「クラス懇談会」も昨日のふたば組で終了しました。4月からクラスで行ってきた子どもとのやり取りをお知らせしながら、日頃の保護者の方々のお話も聞け、貴重な時間をすごせました。夕方の忙しい時間お時間をとっていただきありがとうございました。

今年は『つなげる』のテーマで保育を組み立て進めてき、半年が過ぎました。お子様の成長の過程を単年度ではなく継続して保育を組み立てていき、一人一人が保育園時代に自分らしさを発揮できる環境づくりをしていくという保育の組み立てを意識し進めてきました。

異年齢で過ごす環境ではめばえ・ふたば・つぼみの子供たちが幼児の子供たちが園庭で遊んでいる様子を部屋からじっと観察したり、園庭でそばによってじっと見たりしながら遊び方を見よう見まねで習得していきます。ボールのけり方・色水遊びの花をどこから摘んでくるか・どうすると色が出るか・シャボン玉の使い方・水道の蛇口の開閉の仕方・・・生活の中にたくさんの学びがあります。できないことがあったとき保育者が一つ一つ関わることで同じように幼児の子供たちも手を取り教えてくれています。こんなほっこりした様子や会話をできるだけ多く伝えていきたいと園だよりや日々の掲示でお知らせしています。どうぞ、ゆっくり読んでいただけたら嬉しいです。

先日、育児休暇中の宝田・福井・木下3名が（原田は県外在住）遊びに来てくれました。それぞれのお子様と子供たちがふれあい、職員の子供たちもおなかの中で聞き覚えのある声だったのか、一緒に違和感なく過ごしていました。今、3キロ。50センチの新生児と同じ人形を一体置いています。小さい人形とは違って抱っこしたりするのも力が要ります。事務所の私の机のところに置いています。幼児の子供たちは「いるかちゃん（子どもたちで命名しました）のお世話に来ました」「お散歩に連れていきます」と毎日午前中は人形は連れていかれていました。その人形と同じような「本物の赤ちゃん3人も！」子どもたちは大喜びでした。私も休暇中に園に顔を見せてくれる先生たちの気持ちがいそいそ、ばあばになった気持ちと園児を大切に思ってくれる先生方に感謝した良い日でした。

～お知らせ～

★認可変更します。

かえで保育園も早8年目となりました。時代の流れで待機児童解消という使命で定員60名から70名に変更し、80名以上のお子様を定員増でお受けし、今年は84名の園児数で生活しています。

かえで保育園の保育・教育を共感し、是非入園したいと希望してくださる方も増加し続けており、うれしい限りです。

平成23年より地域貢献を法人の理念に掲げ進んでまいりました。

31年より「保育園」から「幼保連携型認定こども園」と認可変更し更に保育を深めていきたいと思っています。認可を変更しますので様々なシステムが変わります。11月説明会を設けて保護者の方々にお伝えしたいと計画しています。

詳しくは書面にてお知らせいたします。ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

★ダンディタイム

29日雨の中、ダンディタイムのお父様方が9名も来てくださり（卒園のお父様も来てくださいました）子供たちの椅子や木の名札等を制作して下さりました。打ち上げも今後の取り組み等をわいわいと話が上がり、楽しい企画が出来上がり、これからが楽しみになりました。

よいこネットで、ダンディタイムのツールを作ります。お父さん！おじいちゃん！登録してくださいね。

★かえでカフェ・・・次回は10月27日（土曜）15：00～行います。

講師の先生に指導いただき、フラダンスを楽しんだり、第2回フリーマーケットの準備も予定しています

にこにこメッセージ

台風21号は思いもよらない出来事が西宮でも起こり、これからの災害についてそれぞれのご家庭でもこんな時はどうする？と話し合うきっかけとなったのではないのでしょうか。

半数以上のご家庭が長時間の停電で、不安な夜を過ごされたと聞きました。

「停電中、ロウソクを灯すと、子どもがお誕生日おめでとようと、次々火を吹き消して、家族で笑いがこみあげた」「寝ているとき、お母さんがうちわで扇いでくれたから涼しかった」「水が出なかった、お皿にラップを敷いて晩ご飯食べた」「水が出なくて、お風呂に入れなかった」などの話を聞かせてもらいました。子どもなりに色々な経験をしたことで、親から守られたことは記憶に残っていくことと思います。

園は幸い停電や大きな被害もなく、ほっとしていますが、町内には避難指示や避難勧告が発令され、私自身、地震や津波でなければここは（かえて保育園）大丈夫と思っていたところ、ここは大丈夫！ではなく、いつ、どんな場所でも、自然災害の恐ろしさを見通しながら行動することの大切さを実感した日でした。

園には、『かえて保育園の基本マニュアル』があり、それに基づき、基本行動を行っています。 「今までと違った経験」が起こったような時には、職員一人が、どうすべきかを考え、マニュアルの見直しも含め、日々の危機管理に努めながら、安心安全に過ごせるよう保育を進めています。

主任保育士 藤森 寿美

せんせいからのおはなしコーナー

先日夏季休暇を利用し、北海道へ旅行に行ってきました。旅行好きの私には旅のお供に欠かせない物があります。それは一眼レフカメラです。今回も約一年ぶりの大きな旅行ということで、張り切ってカメラ片手に旅に出ました。旅先でしか見られない景色や、観光地、美味しいご飯を撮ることが本当に楽しく、「ここに行って写真に撮ろう！」と計画して旅に出ています。しかし、購入当初はカメラの魅力をなかなか理解してもらえず、携帯でいいじゃん！と家族みんなからは冷たい反応でした。しかし、ここはどうしてもカメラの良さを伝えねばと旅行の度に私はカメラで収めた写真を家族に見せたり、時にはアルバムにしたりしました。すると少しずつ旅行や一緒に出掛ける際には「カメラよろしくね！」「この前の旅行の写真見せてよ！」と今ではすっかり高田家のカメラ担当です。今後も様々な場所に出かけてカメラを楽しみたいと思います。おすすめの観光地があればぜひ教えてください！

もちろん、日々の保育の中でも子どもたちの一瞬一瞬の姿を楽しく、そしてたくさん収めていきたいと思っています。

高田 奈沙

ねらい：「身体をたくさん動かして遊ぼう」「絵本をたくさん見よう」

う た：おおきなくりのきのしたで、トウキョウトニホンバシ

暑かった夏も終わり、最近は涼しくなってきました。室内遊びが多い日が続きましたが、最近みんな園庭に出て遊ぶ時間が少しずつ長くなっています。園庭では砂、葉っぱ、水などたくさんの自然に触れて遊んだり、お兄ちゃん、お姉ちゃんたちと手を繋ぎ園庭の中をお散歩したりしています。室内では絵本をみたり、保育士といっしょにわらべうた「チョチチョチアワワ」や「こっちのたんぽ」などをしたりして遊んでいます。

自然に触れていっぱい遊ぼう



園庭遊びにも少しずつ慣れ、テラスの所にある扉を開けると自らハイハイや歩いて園庭に出ます。園庭に出ると砂場の所のいき、スコップを持ち、砂をすくって遊んでいました。保育士がお皿を渡し、砂や石を入れて「混ぜ混ぜ～」といい、スコップで混ぜてみると「ん」とスコップを指差し、「スコップ貸して」というように手を伸ばしていたのでスコップを渡すとお皿に入っている砂や石を楽しそうに混ぜていました。他にも園庭にあるいろいろな葉っぱに触れたり、ピオトープの所にいき覗きこんでみたり、手を入れて水に触れてみたりとたくさんの自然に触れています。

だるまさんがころんだ



みんな絵本が大好きで身体を動かしながら楽しく見ている絵本があります。それは絵本の「だるまさんがころんだ」です。絵本「だるまさんがころんだ」を読むときに保育士が「だるまさんがころんだ」と左右に身体を揺らしながら読むと「だるまさんがころんだ」のところで身体を左右に揺れています。絵本の内容に中にある「ぷっ」、「にこっ」、「どてっ」「びろーん」などにも動きをつけ読むとそのページになるたび動きを真似して絵本を楽しんでいます。

いないいないばあ



始めは保育士が顔に手をあてたり、布で顔を隠したりして「いないいないばあ」とするのを見て笑っているだけでしたが、最近では布をかけ「いないいないばあ」という「ばあ」が終わるタイミングで一緒に「ばあ」と言ったり、棚の所に顔を隠し、保育士が「いないいないばあ」というと顔をひょっこと出して室内のいろいろなおもちゃを使って「いないいないばあ」としてくれます。

“担任の思い”

最近、子ども達もお友達を意識し始めお友達が使っているおもちゃに興味を持ち「ちょーだい」とおもちゃを指さします。保育者が同じ玩具を渡すと子ども同士で目を合わせにこにこと笑って遊んでいます。園庭に出ると築山を登ったり、ハイハイでお散歩をしています。砂場にある砂を手に取り皿に砂を入れてスコップで混ぜたり、葉っぱやお花にも興味持ち自ら自然にも触れたりしながら過ごしています。元気いっぱいお外で遊び、ご飯をたくさん食べてあとはお昼寝をして、おやつを食べ後はゆっくり室内で過ごし、また元気いっぱい遊んで過ごせるようにしていきたいです。

～ふたばぐみ～

ねらい：「園庭で体をたくさん動かしてあそぼう」「手先のあそびをやってみよう」

う た：まつぼっくり・どんぐりころころ・ゆうやけ

手遊び：やきいもじゃんけん

わらべうた：このここのこ・サンダンノ・ぎっこばっこひけば

楽しかったプールあそびも終わり、園庭であそぶ日が多くなりましたが、今年は涼しい日もあったため、体をたくさん動かして遊ぶ姿が見られました。フープを持ちながら歩いたり、すべり台を何度も挑戦してみたり以前に比べ友達と同じ遊びをやってみる子どもが増えました。運動発表会もあり、お兄さんお姉さんの体を動かす姿を見る事が増えるので、これからふたば組の発展した遊びが楽しみです。

感触あそび

久しぶりに絵具を使ってあそびました。以前は触ってみただけどやっぱり無理・・・となっていたお友達も、何度か触ってみる事で自分から「やる！」と言ってあそび始めるようになりました。今月は2回行い、1度目は青・白・緑色を準備しました。模造紙2枚使って色を塗り、担任のイメージは「メダカ的水槽」でやってみました。メダカの観察記録のように、現在も部屋に掲示していますが、その後も卵が出来、赤ちゃんメダカが産まれているので、その写真をふたばぐみの子ども達が作った水槽に貼っていこうかな・・・と考えています。出来上がった絵具の水槽は、きれいに水色のようになり、緑は「藻」をイメージだったのですが、子ども達へ何も伝えていないのに、きれいに緑の部分がかたまっていて「藻」のように見えました。出来上がりを掲示しますのでご覧ください。2度目はぶどうをイメージして、紫と緑色を使って遊びました。色の絵本を見たりしながら、「むらさき」も覚えている子どもも多くなり、これからたくさん色に出会って過ごしていこうと思います。その他に、寒天粘土をしたり、お絵かきをしたりもしています。粘土をのべしたり丸めたりしながら小さくちぎる事が出来るようになりました。お絵かきも以前より丸をたくさん書けるようになったり、好きな色が変わったりして担任も発見が多かったです。これからも、手先のあそびや手のひら全体を使って遊んでいこうと思います。

発見ってたのしいね

朝の牛乳を飲み、絵本を見てから園庭に出る日を多くもっていますが、園庭に出る前に「今日は雨かな？」と担任が尋ねると「雨降ってない」と子ども達から返答があります。「雨降ってないね。外行けるね。今からいこうか」と言いながら話す時間を少しずつ作っています。天気や今から何をするかの状況を知らせていく事で、興味を示し、言葉と行動が伴っていように短時間ではありますがやり取りを行っています。「おつきさまこんばんは」の本を何度か読み、その時に「お母さんやお父さんと帰る時に、お空を見たとお月様見えるかもしれないからまたみてね」と伝えました。数日たったある日一人の子どもが「おつきさま」と指さして教えてくれました。まだ17時くらいだったので白く薄い月でしたが、「本当だね！よくみつけたね！」言いながら、友達と一緒に「どこ？」「あそこ！」と言いながらみました。これから言葉も増え、友達とのやり取りも多くなってくると思うので、子ども達の言葉を聞き取りながら楽しんで過ごしていこうと思います。

“担任の思い”

10月に入りふたば組の生活が半年となりました。

この半年で一か月ごとに子ども達の笑顔で過ごせるようになり、担任との信頼関係も深まってきました。私たち保育者が心がけてきました「保護者の方へお迎えの時に保育園での楽しい様子や発見を伝える事」を丁寧にし、安心して保育園に預けてお仕事に行ってもらえるようにつとめてきました。後半はお子様もどんどん成長が早く過ぎていくと思います。成長をご披露する行事もあります。子ども達の園での様子を見て頂きながら楽しく参加して頂けたらと思っています。ふたば組の残りの半年でぐんと成長が見られることと思います。その成長を共に喜び発見しお伝えしながら楽しく過ごしていきたいと思っています。

西口智子・高田奈沙・柴原ちはる



ねらい：「戸外で秋の自然に触れたり、体を動かして遊ぶことを楽しむ」

う た：「どんぐりころころ・きのこ・いっぴきののねずみ・やきいもグーチーパー」

秋風や涼しさを感じる虫の声…いつの間にかすっかり秋の季節になってきました。戸外では体を動かして遊ぶことを楽しみ、室内では女の子はままごと、男の子は電車遊びが盛んでした。人形を優しく抱っこしてお世話をしたり、テーブルにお皿やコップを丁寧に並べて友達と一緒に「いただきます！」など、会話を楽しんでごっこ遊びをしていました。電車では、線路を複雑に繋ぎ合わせるなど友達同士で工夫して遊ぶ姿が見られました。



「みんなで楽しいね」

楽しかったプールも終わり、また9月からサーキット遊びが始まりました。マットで転がったり、バランスを取りながらはしごを渡ったり、鉄棒やトンネルをくぐったりなど、久しぶりのサーキットもみんな全身を使って楽しく取り組んでいます。

園庭に出ると、「〇〇くん、かけっこしよ！」と友達を誘ったり、「リレーしたい！」と保育者に伝えてくるつぼみさん。



他にもフラフープを回したり、なわとびをしてみたりなど運動遊びが大好きで、毎日のように友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しんでいます。「むっくりくまさん」、「おにごっこ」、「かくれんぼ」など仲良く集団で遊ぶことも増えてきているため、集団遊びを通していろんな友達との関わりをもっていけたらと思います。

「ぶどうをパクッ」



かえで保育園の園庭にあるぶどうがたくさん実り、砂遊びをしていると落ちていたぶどうに気づき、ぶどうの木を見上げて「先生、ぶどういっぱいやね」と話しかけてくれます。落ちていたぶどうを手にとると砂遊びでぶどうのケーキを作り、ハッピーバースデーの曲を歌ってお誕生日会のようにしたり、家族ごっこなどに取り入れて楽しそうに遊ぶ子もいました。つぼみぐみもぶどうを収穫しました。「ぶどう食べようか！」と声を掛けると「やったー！」とみんな大喜び。「早く食べたーい」とわくわくしながら順番にぶどうの木に手を伸ばし、自分で取る姿はとても嬉しそうでした。食べるときは「大きいの」、「小さいの」など大きさを話したり「あまーい」と会話を交わしながらみんなで美味しく食べました。昼食のデザートでもぶどうが出たときは「あ、ぶどうだ！」と喜んでいて、ぶどうが大好きなつぼみさんです。子どもたちと一緒に秋の自然や味覚に触れる体験を楽しんでいきたいです。



“担任の思い”

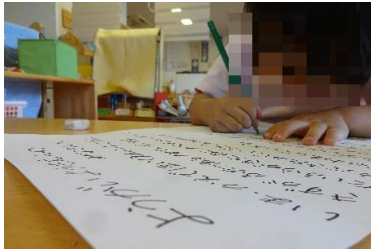
友だち同士の関わりの中で、遊びが発展し一緒に考え教え合ったり、友達の事を気にかける姿が見られ、保育者自身子どもたちから気づかせられることもたくさんあります。食後の食器の片付けや幼児の遊びに興味を持ったりなど、生活でも遊びでも自分で出来ることが増え、子どもたちの「やりたい」という思いを大切にして実現できるよう過ごしていきたいです。これからも様々な出来事を子どもたちと楽しみ、保護者の方と子どもの成長を共に喜び見守っていきたいと思います。

林 千紗・星加 由美子・山本 あかね

ねらい：「友だちと力を合わせる」「秋を感じる」

う た：「手のひらをたように」「園歌」

9月では、プール遊びも終わって園庭で元気いっぱい走り回ったり、保育室で集中して遊ぶ姿が見られるようになってきました。気の合う友達と一緒に絵かきをしたり、お兄さん、お姉さんとゲームをしたり…。10月では触れ合い遊びや協力して楽しむ遊びを通して、友達との関わりを深めながら、力を合わせて出来ると嬉しい、楽しいと感じられるよう過ごしていきたいです。



“お家にかえしてあげよう”

7月に台風がやってきたあと、かえで保育園にやってきた一匹のカメさん。どこから来たのかも分からず、ご飯をあげたり、家を掃除したり、暑い日にはうちわで仰いだり、園庭のなかを散歩させたりなどお世話をしていました。

しかしある日、用海幼稚園のカメがどこかに逃げてしまって、今探しているということを聞いて、みんなで集まって話し合い、お手紙を書いて幼稚園のお友だちに知らせることにしました。

「なんて書いたらいいかな？」と問いかけると、「本当に幼稚園から逃げたカメかどうかわかるように、甲羅に二つ傷があることちゃんと書いてかなあかん。」「心配しているだろうから、いぶきさんがご飯をあげてお世話をしているよって書く。」「でも用海幼稚園に行ってみたいな。」など、子ども達が、伝えたいことがたくさん出てきました。それから、カメさんの元気が出るように絵を描いてあげたり歌を歌ってあげたりしてくれていたいぶきさん。すると、用海幼稚園からお手紙が返って

来たのです。「そのカメは用海幼稚園のカメかもしれません。いぶきさん、かめさんに会わせて下さい。」と書いているのを聞いて、慌てて行こうとしましたが雨が降っていたので行けず。どうやってカメさんを運ぶのか、みんなで考え、晴れた日に連れていく事にしました。

そして天気の良い日、ふたば組のバギーに乗せて用海幼稚園まで歩いて行きました。用海幼稚園に着くとお返事をくれたひまわり組のお友だちが迎えしてくれました。「やっぱり！用海幼稚園から逃げたカメだよ！いぶきさん、ありがとう。」と話してくれてみんな一安心。それなら早くお家に返してあげようということで、そっとお家にけしてあげました。

そして、また会いに来ることを約束してさよならをしました。

「もう逃げたらあかんで。」「ちゃんにご飯食べてね。」「よかったね、元気でね。」など、それぞれ声をかけていました。



“担任の思い”

カメごっこをしたり、甲羅を作ったりして楽しんでいたいぶき組にとって、7月にカメがやってきたときは驚きとうれしい気持ちでいっぱいでした。お別れしたことは本当に寂しい出来事でしたが、今回のことを経験して子どもたちの心の成長を感じることが出来ました。用海幼稚園に返さなきゃならないとわかったとき、子どもたちがどのように感じるのか、どうやって伝えようか悩みましたが、寂しいね、だけでなく、幼稚園のお友だちは心配してるよね、見つかってよかったよね、など相手を思いやる言葉が子どもたちから出たことはとても嬉しく思いましたし、子どもたちにとって、とても素敵な出会いだったなと感じました。この出会いを忘れずにこれからの保育にも繋げていきたいです。

林 奈津美

ねらい：「お友達と協力してみよう」「身近な自然の変化を感じる」

うた：「まっかな秋」「風になりたい」「園歌」

秋が近づき始め、空の変化や風の心地よさを感じながら平均台でバランスを取ったり、鉄棒で逆上がり挑戦したりと身体をたくさん動いて過ごすことが増えてきました。日が暮れる頃にはテラスから見える夕焼けを見ながら「夕やけこやけで～」「また明日ね」と歌を歌っていました。お部屋では好きな遊びをとことん繰り返し遊ぶ様子や同じ遊びでも方法を変えて遊ぶ楽しさを感じる姿が見られるようになってきました。

“2人組からみんなで”

クラスで歌を歌う前に「2人組しよう！」とお友達との手押し相撲や手を繋いだまま背中を合わせて「せーの」と協力して立ってみたりとふれあい遊びの種類も増えてきました。最近では

2人組から手と足をくっつけて「どのくらいできるかな…1, 2, 3」とお尻でバランスを保ちながら数を数えるポーズに流行り中です。繰り返すうちに隣にいた2人組に声をかけて4人で挑戦。「できるかな…」と手足をふるふるさせながらも…できた！の音が聞こえると「次一緒にしよう！」と人数を増やして挑戦していました。「あ～倒れちゃった～」と転がってもなぜかみんな笑顔で「もう1回」とペアを変えて楽しんでいました。



“虹の橋見てみたい”

この言葉からみんなが思う虹ってどんな色？と模造紙にローラーで虹の橋を作りました。「虹ってどんな順番かな？」「紫色ってどうやって作ってた？」といろんな不思議をはま、かぜグループに分かれて

話合ってから描きました。「ここは空の上だね」「虹がでたら通れるね」とブルーシートの上に敷いた模造紙を見ながら1人1色ローラーで好きな色を塗り始めました。『にじ』の絵本をみながら「青の次は…紫色だって！」

「この緑綺麗だね」と虹の順番をそれぞれ塗り終わった子から同じグループに教えていました。最後は2グループの虹を見て「ここの色好き！」「こっちはくねくねしてるね」と思い思いに話して虹の橋を歩いていました。今は新たに“虹のトンネル”を製作中です。



“担任の思い”

「ここの上は空の上だね」「虹がでたら通れるかな？」と子どもから出たふとした言葉から物語や遊びが広がる様子を見てとても素敵だなと感じました。どうしたら虹の橋ができるのか、真剣に考える姿が見られました。1人で考える子もいれば、お友だちと話し合う子と方法は様々です。その中で伝わらない時にどうしたらいいかを考えて、いろんな方法を経験して自分らしさに気づいて伝えることができるようにしていきたいです。そして、自分の感じていることや思っていることを言ってもいいんだと思える仲間との関係性を大切にしていきたいです。

日笠 加菜

～だいちぐみ～

ねらい：「力を合わせる楽しさを感じ、自ら関わろうとする」「生活の流れを理解し、見通しを持って生活する」
う た：『小さな世界』

鈴虫やコオロギが綺麗な音色を響かせている中、だいちさんも『虫の声』のうたを楽しみました。実際に鳴いている姿を見つけては嬉しそうに誘い掛けてくれます。「本当はキリキリって鳴かないんだね」「見て、羽がぶるぶるしてる！」と、自然の面白さを発見する日々です。他にも秋の食材を思い浮かべてみたり、気温の変化から秋を感じているようです。生活の中で感じたそれぞれの“秋”が、あそびの中でどのように登場するのか楽しみです。10月から11月にかけて、地域の交流会も予定しています。保育園外の友だちと関わることや、初めての場所でどのような姿が見られるのでしょうか…？

様々な経験の中で心が揺れ動いているだいちさんの姿を、またお伝えしていきますね。

“ゆうびんやさんが誕生するまで”

ある日、一冊の絵本を読みました。友だちに手紙を送り合うお話です。絵本を読むとすぐにAくんが「ぼくお部屋に行ったら絵を描きたい」と目を輝かせていました。他にも絵本の世界を楽しみ友だちに手紙を書く子の姿もありました。Bちゃんに「お手紙、どうしようか。どうやって届ける？」と尋ねてみると「うーん…あ、そうだ！ポストに入れるのは？」素敵なアイデアがひらめいたようです。昨年度のだいちさんが大切に使っていたポストが玄関にあるのを思い出し、お部屋まで運んできてくれました。

ポストに手紙をいれると、さて次は配達する役割が必要です。そこで、以前から別のあそびのためにとみんなで作っていた積み木の囲いを使い、“郵便屋さん”を作ってみることにしました。

一つの物事を継続して取り組むことが得意なCちゃんにあそびのきっかけ作りをしてもらうことで、よりあそびが深まっていくのではと考え、Cちゃんに声をかけてみました。

「ポストを置く場所はどこがいいかな」「郵便屋さん行ったことはあるけど、入ったことはないんだよね。確かポストはこのへんかな」と調節しながら、街で見かけたポストを思い出しているようでした。ポストの下も白ではなく赤にしたいというこだわりを見せ、やはり子どものあそびは経験から生まれることが沢山あると感じます。

手紙や切手も手作りしました。まずは簡単に作れるはがきに郵便番号の枠を書いていきます。積み木の囲いの中に入り定規で丁寧に線を引いている姿は、まるで“はがき製作工場”のようでした。

Cちゃんが熱心に取り組む姿を見て、「それなに作ってるん？」と興味を示す子も出てきました。

あそびの世界が子どもたちにとって“本物”になるように郵便屋さんの帽子と靴も用意してみると、手紙を配達したくて堪らないといった様子のだいちさんです。友だちに手紙を書いたり、悩みながら覚えたての字で一生涯懸命返事を書いたり、友だちの顔を絵にして贈る子もいました。郵便屋さんへの興味が、友だちと気持ちが通じ合う経験に繋がっています。



“跳んでみたい！跳び箱6段”

体育あそびの中で継続して取り組んでいる跳び箱は、3段や4段で“跳ぶ”こと自体を楽しんでいました。

また跳び越えることは難しい子も、タイミングを合わせて踏み切ることが出来るようになってきています。

なによりも子どもたちの中から出てくるのは“出来るようになりたい”という強い気持ちです。

4段から5段にまで挑戦するようになり、古井先生から見本で6段の跳び箱を見せてもらうことになりました。想像以上に高かったのか、6段の跳び箱を目の前にすると「おお～！」と歓声が上がります。

4名程の友だちが一人ずつ挑戦してみたのですが、見事に跳び越えた友だちの姿を見て、「すごい！」「いいな」「私も跳んでみたかったな」と呟く声がぼつり、ぼつりと聞こえてきました。

体育あそび終了後、絵を描いている子がいました。実際には4段や5段を跳び越えることを頑張っている子も、絵の中では6段をとてもしそう表情で跳んでいました。

“担任の思い”

きっと子どもたちの心の中には“出来る”“出来ない”を考えることなく“やってみたい”の気持ちがあったのだと思います。大人になり“これは自分には出来ないからやめておこう”と考えてしまうことがありますが、純粋に「やってみたい!」という思いを真っ直ぐに表現出来る子どもの姿を羨ましくも感じました。

子どもたちの描く絵は“やってみたい”や“出来るようになりたい”“こんなのいいな”と夢見る世界を自由に表現出来る楽しさで溢れています。絵の中の自分に近付いていく子どもたちの姿にわくわくしながら

「がんばれ!がんばれ!」と心の中で応援しています。

河本 彩奈



めばえ・ふたばからのお知らせ

- ・涼しくなりますが、基本、園では半袖（薄着）で過ごしますので、半袖の用意をお願いします。
 - ・体を清潔を保つためシャワーをすることもありますので、ロッカーの中に体拭きタオルの準備をお願いします。
- *自分でしたい気持ちを優先して『やりたい』ときには見守ってあげてください

つぼみ・いぶき・ひかり・だいちからの お知らせ

- ・うんどう発表会までに赤白帽子、登園帽子の洗濯をしていただき、ゴムの入れ替えをお願いします。
体操ズボンのゴムもご確認ください。
- ・ロッカーの中をこまめにご確認下さい。
- ・外遊び。園外保育に出ます。できるだけ9:15までに登園してください

保護者の方からのおはなしコーナー

ショッピングモールでの話ですが、レジが大行列で時間がかかってしまったので軽い気持ちで「駐車サービスしてくれない？」とレシートと駐車券を渡すと「うん！わかった！」と言ってサービスカウンターに一人で行ってくれました。

心配したのですが、一人でお姉さんに頼んでいる姿を見て感動しました。すごく褒めると嬉しそうに誇らしげな顔でニヤニヤしている息子は成長しているんだな、と感じる毎日です。

いぶき組 けいこさん

だいちになって出てきたお友達との悩み。

「Aちゃんがプイっとする。だいちのお友達が遊んでくれへん。」と一緒に風呂に入ると話してくれます。

「どうしたらいいんやろ？」と一緒にいろいろ悩んで、明日はこう言ってみる？とかお風呂で作戦会議です。

作戦が成功すると「今日はいっぱい遊んでくれた」と笑顔で教えてくれます。悲しむこともあるかと思いますが、その時はまた一緒に悩んで、喜んでいきたいです。

だいち組 せつこさん

保育園に通いだしてからたくさんお話してくれるようになりました。

最近は「おべんとうばこのうた」が大好きで振り付けしながら歌っています。

ふたば組 ゆきさん

夜ごはんの用意をしていると

「〇〇ちゃんもてつどう～」

「おてつだいする～」と言って台を持ってきます。

そしてお手伝いをしてくれます。

つぼみ組 やすよさん

保育園であやとりを覚えてきた娘がきっかけで我が家では大ブームとなっています。新しい技を覚えるため、途中で投げ出さずに何度も練習する姿を見ると、すごいなあと感じます。そして、子どもたちに「ママすごい！」と言ってもらいたいがために寝静まった後こっそり練習している事は二人には内緒です。

ひかり組 よりえさん

お兄ちゃんが大好きでなんでも真似をしたがる弟くん。

お兄ちゃんがテレビを点ければ自分もソファへ座り、電車で遊び始めればレールを持っています。下の子は周りをしっかり見ているなあと実感しています。

もう少し大きくなったらお兄ちゃんとたくさん遊ぼうね。

いぶき組 ゆみこさん

～お台所から～

暑い夏も終わり、だんだんと過ごしやすい季節になりましたね。秋は「食欲の秋」ということで、美味しい食材がたくさん出てきます。かえで保育園のごはんにも旬の秋の食材を多く取り入れ、子どもたちと「実りの秋」をたくさん感じていきたいと思います。

9月の食育活動の様子

- ・ひかり組が自分たちで育てたじゃがいも（キタアカリ・メークイン）を、ホットプレートを使ってバター焼きにして食べました。包丁を使ってジャガイモを切っていると「見て、上手に切れたよ」と切ったじゃがいもを見せてくれる子や「左手は猫の手やで」とお友達が包丁を使っている時に優しく声をかけている子もいました。バターが焼ける匂いやジュージュ焼いてる音が聞こえると「めっちゃいい匂い、美味しそう」と嬉しそうに話していました。メークイン・キタアカリを食べ比べると、好みもありましたが「どちらも大好き」と笑顔で話してくれました。
- ・だいち組がおやつにあんこパイを自分たちで作りました。パイ生地をのばし、あんこを乗せていると「パイ生地がいいにおいする」「このまま食べれそう」など仕上がる前から食べたい気持ちいっぱいの子どもたちでした。最後はフォークを使ってパイ生地の端を閉じると、「模様がかわいい」「模様付けた方もっと美味しそうになった」「おしゃれになった」と話していました。そして焼き立てのあんこパイを食べていると「めっちゃ最高」「あつあつで美味しい」と大絶賛でした。「楽しかったから今度はイチゴジャム入れてみたいな」「ウインナーとかも美味しいそう」など食べながら思ったことを話してくれました。次回、子どもたちと話を進めながら違うパイ作りにも挑戦したいと思います。
- ・だいち組がおやつにお月見団子を作りました。粉から水を入れて練っていくと「なんでサラサラの粉が水を入れたら粘土みたいになるんやろ？」と生地が変化する様子を不思議に感じていました。団子を丸めて鍋で茹でていると「あっ茹でたら色が変わった」「美味しそうないいにおいがする」「団子が浮かんできた」など思ったことを色々話してくれました。出来立てのお団子にあんこときな粉を乗せて食べると、「もっと食べたい」と言ってあっという間におかわりも全部なくなっていました。又、お月見の由来やなぜお団子を食べるかなどの話もしました。

10月の献立で使用する旬の食材

さつまいも	しめじ	くり	ごぼう	まつたけ
さけ	さんま	なし	ぶどう	かき

※まつたけはにおいを体験します

10月に予定している食育活動

- ・手作り味噌でみそ汁作り・・・だいち組
 - ・きのこをほぐす、さく・・・いぶき組
- ・おにぎり作り・・・ひかり組
 - ・はくさいをちぎる・・・つぼみ組



じゃがバター作り



あんこパイ作り



お月見団子



- ・うんどう発表会までに赤白帽子、登園帽子の洗濯をして頂き、ゴムの入れ替えをお願いします。
- ・22日から武庫川女子短期大学の実習生2名受け入れます。
- ・10月14日（土）は運動発表会です。
子どもたちの頑張っている姿に応援をよろしくお願いします。
- ※ 4日は運動発表会の予行練習があります。
登園は9時15分までにお願いします。

こんなことしたよ♪

9月19日、2回目のそうめん流しを行いました。

天候にも恵まれ、少し涼しい中で絶好のそうめん流し日和となりました。

かえで café のお母さんやおばあちゃん、ダンディタイムのお父さんたちに竹の準備からたくさん手伝っていただき、無事成功させることが出来ました。

子どもたちはみんなお腹いっぱいになるまで何回もお替りをして、だいち組では5回も食べている子も…！



12日～19日は敬老週間がありました。おじいちゃん、おばあちゃんと一緒におやつを食べたり、好きな遊びを一緒にしたり、お話をしたりゆっくりと過ごすことが出来ました。短い時間ではありますが、保育園での生活を感じて頂けたのではないかと思います。たくさん遊んでいただき、ありがとうございました。お孫さんとの写真は後日、プレゼントさせていただきます。



- ・眼科・耳鼻科・歯科健診があります。
それぞれの結果を確認ください
- ・玄関に靴は子どもたちにはそろえるように指導しています。保護者の方もきれい脱いでください。
- ・少し早いですがご予約ください
* 11月16日（金）はお泊り保育がありますので早めのお迎えにご協力をお願いします。また、17日（土）は家庭保育をお願いします。



《10月の予定》

- 4日（木）うんどう発表会予行
- 13日（土）うんどう発表会
- 15日（月）消防立ち合い訓練・消防設備点検
- 16日（火）耳鼻科健診 13：00
- 17日（水）誕生会
- 18日（木）眼科健診 14：30
- 19日（金）絵画
- 22日～11月27日（11/12～16 除く）
保育参加（お手紙配布しています）
- 23日（火）香櫨園小学校交流
就学前健診（浜脇・香櫨園）
- 24日（水）つぼみ・幼児 弁当日
（園外保育に出かけます）
- 25日（木）地域交流（にぎわい）
- 26日（金）地域交流予備日
就学前健診（用海）
- 27日（土）かえでカフェ
15：30～17：00
- 29日（月）絵画
月例健診
- 30日（火）歯科健診 10：00
就学前健診（今津）

11月1日から三井住友銀行のギャラリーに作品を展示する予定です。

11月16日～17日 だいちお泊り保育